

R32対応

ELECTRIC HEAT PUMP AIR CONDITIONER

MAINTENANCE SERVICE

定期的なメンテナンスで
いつまでもベストコンディションを。



商品の情報はホームページでご確認ください。 ▶ panasonic.co.jp/hvac/pces/

機器に関する
ご相談・
お問い合わせは

■業務用機器 商品相談窓口

最初に「186」をダイヤルしていただく折り返しの連絡等がスムーズに行えます。

フリーダイヤル **0120-872456**

※お電話を頂く際には、番号を十分にお確かめの上、おかけまちがいのないようにお願いいたします。

<営業時間> 24時間365日受付
<対応業務> 機器に関するご相談・お問い合わせ

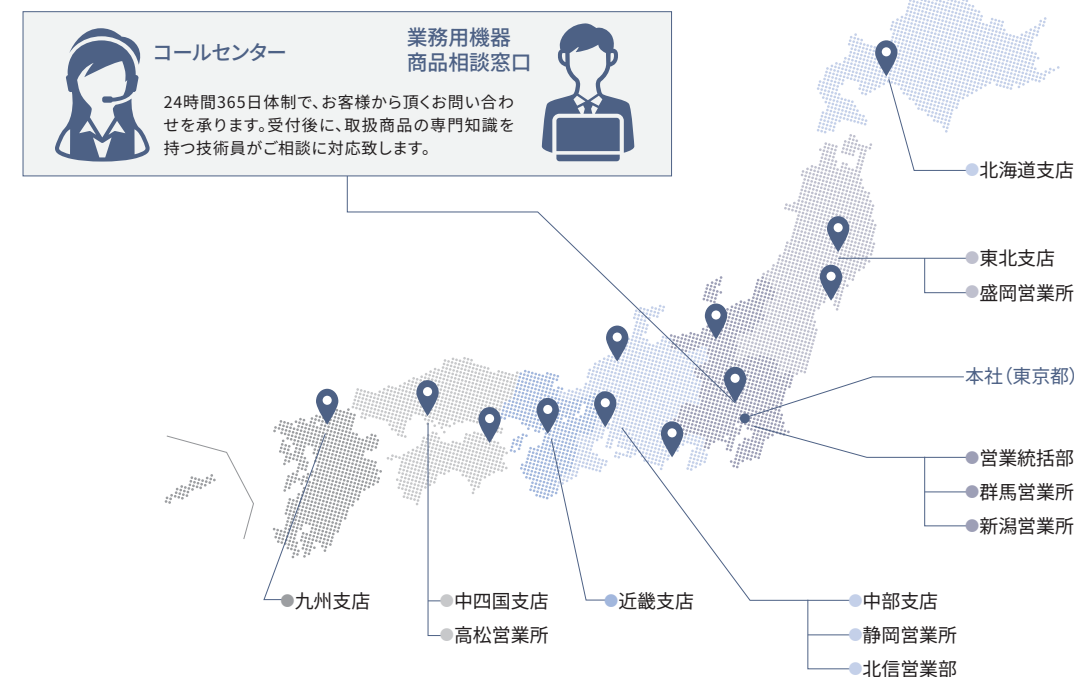
FAX 0276-20-0228

24時間 365日 受付

【ご相談窓口における個人情報の取り扱い】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

全国に広がるサービス網が迅速に対応。24時間365日※受付の万全な体制で、
お客様を強力にバックアップします。

(※島しょおよび一部地域につきましては除かせていただきます。)



■パナソニック産機システムズ株式会社 営業拠点

北海道支店 〒060-0031 札幌市中央区北1条東7-1-8 ☎(011)211-0572	近畿支店 〒541-0059 大阪市中央区博労町3-5-1 ☎(06)6125-2627
東北支店 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3-8-3 ☎(022)739-7701	中四国支店 〒730-8577 広島市中区中町7-1 ☎(082)207-0885
営業統括部 〒131-0045 東京都墨田区押上1-1-2 ☎(03)6364-0751	九州支店 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4-6-23 ☎(092)411-4433
中部支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-17-19 ☎(052)209-6480	

●お問い合わせはこちらへ…。

パナソニック産機システムズ株式会社
〒131-0045
東京都墨田区押上1丁目1番2号
©Panasonic Commercial Equipment Systems Co., Ltd.
本書からの無断の複製はかたくお断りします。

このカタログの記載内容は
2025年12月現在のものです。

EHP(電気式業務用空調)の種類

コンプレッサー(電気モーター)の駆動で冷房・暖房の為の冷媒サイクルを行います。

オフィス・店舗用エアコン(PAC)



1.5～10馬力
・飲食店・コンビニ
・店舗・事務所など



- 特長
- ・室外機1台で室内機1～4台接続可能
 - ・室内機は**同時運転のみ**
 - ・店舗からオフィスなど幅広い用途に対応

ビル用マルチエアコン(VRF)



4～54馬力
・ビル・病院
・学校など



- 特長
- ・室外機1台で室内機2※1～64台接続可能
 - ・室内機は**個別運転ができる**
 - ・長配管(200m)※2が可能な大型施設向け
- ※1 機種によっては室内機1台接続も可能、詳細については別途お問い合わせください。
※2 UXPR5YR・UXPR5R・UXR5・UXKR5シリーズの場合。

フロン排出抑制法対応は万全ですか？

法令でフロン漏えい点検の実施が義務化されています。

行政の立ち入り検査が年々増加。
実際に罰則を受けた事例も
発生しています！

改善指導事項の例

- 簡易・定期点検の未実施
- 定期点検が十分な知見を有する者により行われていない
- 点検設備記録簿の記録・保存がない等

対象機器

業務用冷凍空調機器(第一種特定製品)
[製品区分] エアコンディショナー



圧縮機に用いられる電動機の定格出力 または動力源となるエンジンの出力	定期点検頻度
50kW以上	1年に1回以上
7.5kW以上 50kW未満	3年に1回以上

フロン排出抑制法について

改正フロン法(2015年4月施行)によって、業務用冷凍空調機器(第一種特定製品)の管理者が機器を使用・管理していく上で、守るべき判断基準に従い、責務が課せられました。(2020年4月改正)

業務用の冷凍空調機器の管理者とは

第一種特定製品である業務用の空調機器および冷凍冷蔵機器の所有者をいいます。管理者は業務用冷凍空調機器の適正な管理と、フロン類の排出抑制に努めなければなりません。そのため、日常的な簡易点検は所有者ご自身が行い、定期点検は、専門業者や有資格者に依頼して実施することが必要となります。

[詳細については、各ホームページをご確認ください] 日設連ホームページ <https://www.jarac.or.jp/> 環境省ホームページ <https://www.env.go.jp/earth/furon/>

管理者に求められること

- ① 冷凍空調機器の簡易点検・定期点検の義務化
- ② 漏えいを発見した場合には、速やかな漏えい箇所の特定および修理を実施
- ③ 機器の点検・周知やフロン類の充填・回収等の機器整備に関する履歴の記録・保存義務
- ④ 算定漏えい量の報告
- ⑤ 機器を廃棄する際のフロン類回収・引き渡し

2020年4月法改正
製品廃棄時の規制が強化(管理者の責任が増加)

● フロンをみだりに放出した場合	1年以下の懲役または50万円以下の罰金
● 機器の使用・廃棄等に関する義務について都道府県知事の命令に違反した場合	50万円以下の罰金
● 算定漏えい量の未報告・虚偽報告	10万円以下の罰金
● フロンを回収せずに機器を廃棄	50万円以下の罰金(直罰)
● 行程管理表の未記載・虚偽記載・未保存	30万円以下の罰金(直罰)
● 廃棄機器を引取業者に引き渡し際、行程管理表の引取証明書写しを未交付	30万円以下の罰金(直罰)

違反した場合
罰則が課せられます

規制強化

*直罰…行政指導などを経ることなく即座に刑事罰(罰金)が適用されること。

R32冷媒採用機種導入後は
ガイドラインに沿った安全対策が必要です*

*設置状況により不要となる場合もあります。



安全対策とは

R32冷媒はR410Aに比べて低GWPを実現しておりますが、微燃性冷媒のため冷媒漏えい時の燃焼を防止する対策として**安全対策装置を設置**しております。この**安全対策装置には定期的な点検が必須**です。

安全対策装置の設置

以下の装置が必須です。

- ✓ 冷媒漏えい検知器
- ✓ 冷媒漏えい警報器
- ✓ しゃ断弁または換気設備



冷媒漏えい検知警報器

安全対策装置の点検

設置した装置には**以下の対応が必須**です。

- ✓ **【毎年】回路検査**
- ✓ **【5年ごと】漏えい検知センサー交換**

パナソニックのメンテナンスサービスは
R32冷媒の安全対策にも対応！

回路検査も漏えい検知センサー交換もご契約内で実施いたします。



定期点検

(フロン排出抑制法定期点検含む)



修理対応

R32冷媒安全対策



回路検査

安全装置が正しく作動するかを確認するための検査です。主にリモコンの操作により毎年実施します。

R32冷媒安全対策



漏えい検知
センサー交換

外付け、または室内機に内蔵されている漏えい検知センサーを5年に1度の頻度で交換します。

3つの
安心ポイント

ポイント
1

メンテナンス

- 機器のベストコンディション維持
- 寿命(耐用年数)の確保

ポイント
2

省エネ・eco

- 節電効果UP
- 施設管理部門様の業務負荷軽減

ポイント
3

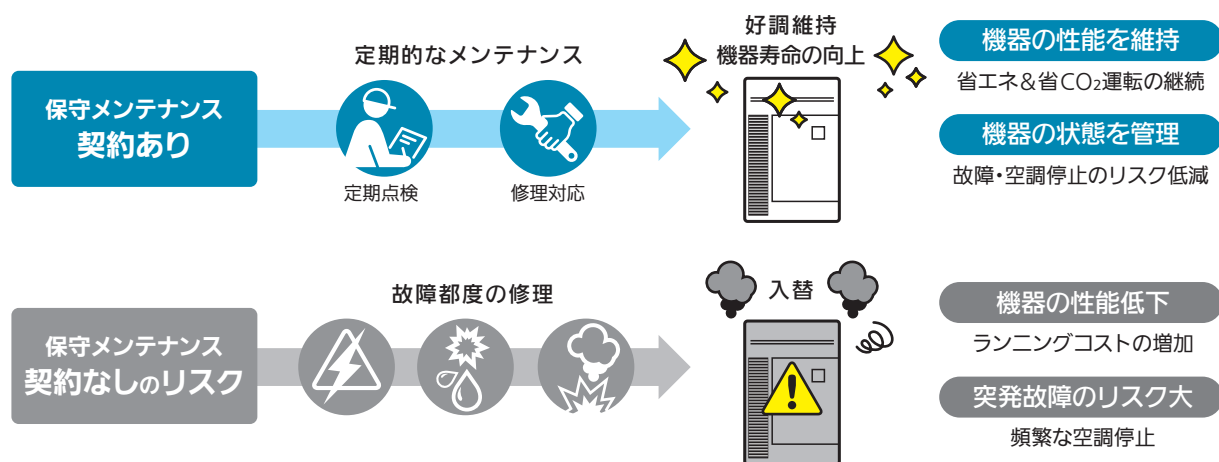
サポート体制

- お客様の営業や業務への影響を最小限に
- 経験豊富な技術員が迅速に対応

パナソニックのメンテナンスサービス

定期的なメンテナンスでずっと快適運転

省エネ&省CO₂を維持するためには定期的なメンテナンスが必要です。



性能維持



機器のベストコンディションを維持

定期的なメンテナンスで、基幹部品・消耗部品の点検・整備を行い、機器のコンディションを良好に維持します。

機器の寿命(耐用年数)を確保

常にベストな状態を継続できるので、偶発トラブルやダメージの蓄積を最小限に抑え、機器の耐久性を確保します。

経済性



メンテナンス費用の予算化

機器のご使用状況や条件に合わせ、無駄のない最適なメンテナンスをご提案します。フルメンテナンス契約では、万一のトラブル発生時の修理費用が含まれているので、計画外の出費を抑えることができます*。
*別途有償となる修理もあります。

省エネルギー・省コスト

機器の適切な管理がなされていないと、能力が低下し無駄なエネルギー消費が増加します。定期的にメンテナンスを行うことにより能力の低下とエネルギーの無駄遣いを防止できます。

安全性



安心のサポート体制

機器の停止などお客様の営業や業務におよぼす影響を最小限に食い止めることができます。また故障発生時においても24時間365日の受付対応いたします。

トラブルの予防

的確な点検とメンテナンスにより、シーズン中の不具合やトラブルを未然に防止できます。

プロの技術員が迅速対応

専門の技術と知識を持つ技術員が点検・整備を行い、万一の偶発的なトラブルが発生しても迅速に対応いたします。

フロン排出抑制法対応

有資格者によるフロン漏えい点検を実施します。



提案

遠隔監視

24時間365日空調機器を常時監視

当社遠隔監視センターで管理しているので、空調機にトラブルが発生しても迅速な対応が可能です。点検・修理が必要と判断される場合は、技術員がお伺いします。

診断・ご提案

予防保全

機器の状態を常に管理しているため、使用状況や設置環境に応じた予防保全や性能維持等の最適なご提案を行います。



性能維持

保守メンテナンスはパナソニックにおまかせください！

機器の性能を維持しながら、快適な空調環境を継続させるためには、日頃からの定期的な保守・メンテナンスが必要です。パナソニックでは、メーカーサービスならではの専門技術・知識をもった技術員が対応し、安心・安全・快適な空調を継続してご提供いたします。

メンテナンス内容

機器ごとに作成した定期点検項目表に基づき、充実したメンテナンスをお届けします。冷房・暖房の切り替わり時期も、スムーズにご利用いただけます。

定期点検				R32冷媒安全対策
本体関連	リモコン関連	電気系	その他	
●据付状態・外装の確認 ●室外機熱交換器の確認 ●室外機基板、端子類の確認 ●コンプレッサーの確認 ●ファン・ファンモーターの確認 ●冷媒系点検	●設定切替による液晶表示の確認 ●警報履歴の確認	●運転時、停止時の電圧の確認 ●運転電流の確認 ●絶縁抵抗の確認	●室内機/室外機運転状態の確認 (運転データによる確認)	●回路検査(毎年) ●漏えい検知センサー交換(5年に1度)

計画的なメンテナンスで機器延命・快適空間維持も実現

推奨される部品交換・修理・清掃・調整の目安時期

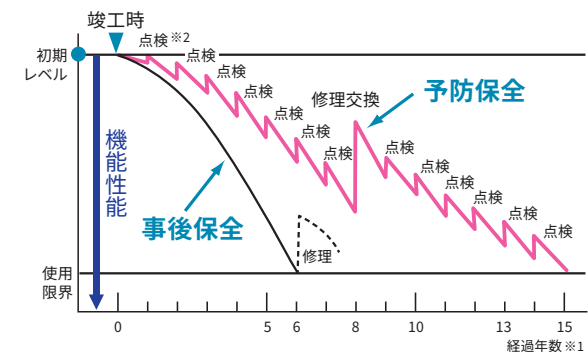
▲：点検異常時 部品交換/修理実施
●：点検結果により清掃や調整の実施

部品名		保全周期 使用期間(年)	経過年数														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
室外機	圧縮機	8年 /20,000Hr				偶発故障				▲				摩耗故障			
	ファンモーター	8年 /20,000Hr				偶発故障				▲				摩耗故障			
	電装部品	10年 /25,000Hr				偶発故障						●		摩耗故障			
室内機	熱交換器	5年/都度		偶発故障			●		偶発故障		●	偶発故障		●	偶発故障	●	●
	ドレンポンプ	8年 /20,000Hr				偶発故障				▲				摩耗故障			

*日本冷凍空調工業会「定期的な保守・点検のすすめ」より一部抜粋。

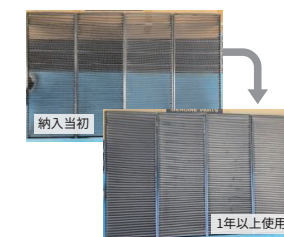
耐用年数の延長の考え方

定期的なメンテナンスは機器の性能を維持、そして故障の発生を最小限に抑え、結果的に耐用年数を延長することに繋がります。



※1 経過年数は頻繁な発停のない通常の使用状態で10時間/日、2,500時間/年と仮定した場合
※2 点検とは、点検の過程で必要となった保全内容を含む。
※出典：(社)日本冷凍空調工業会「定期的な保守・点検のすすめ」

避けて通れない『汚れの蓄積』



フィルターの目詰まり

- 室内機部品の故障リスク増
- 空気を取込むファンモーターの故障リスク増

フィルターの目詰まりは様々なリスクの要因に！



ドレンポンプ周辺の汚れ・詰まり

- ドレンポンプの機能不良
- 排水不良による水漏れ

室内機の熱交換環境悪化や室外機の負荷が増加！



性能維持

メンテナンス契約に関する各種メニューをご用意しております。

*契約加入期間などの諸条件については、別途ご相談ください。

ご契約メニュー		含まれる項目	実施タイミング									
*■～■の契約内容に、フロン排出抑制法点検は含まれます。			運転確認点検 → フロン排出抑制法定期点検 → フロン R32冷媒安全対策 回路検査 → 漏えい検知センサー交換 → センサー									
オススメ フルメンテナンス (保守契約) 修理対応費用込み!※1	1 毎年点検タイプ 技術員が毎年ご訪問 (年1回または年2回)	運転確認点検 修理対応費用 R32冷媒安全対策 回路検査 漏えい検知センサー交換	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
	2 遠隔監視タイプ 機器の運転を遠隔監視	遠隔監視 修理対応費用 R32冷媒安全対策 回路検査 漏えい検知センサー交換	メーカー保証期間 遠隔監視 フロン センサー									
定期メンテナンス (定期点検契約)	3 毎年点検タイプ 技術員が毎年ご訪問 (年1回または年2回) *修理対応費用は有償となります	運転確認点検 R32冷媒安全対策 回路検査 漏えい検知センサー交換	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年

フルメンテナンス (保守契約) **オススメ** 修理対応費用込み!※1

定期的な点検に加え、万が一故障が発生した時の修理対応費用や遠隔監視の費用が含まれた、おすすめメニューです。

1 毎年点検タイプ 運転確認点検 + 修理対応費用 + フロン排出抑制法定期点検 + R32冷媒安全対策

- 年に1～2回、技術員が訪問させていただき、室外機各部の点検・調整を行います。
- *本契約のご加入期間は、試運転完了から5年以内になります。

2 遠隔監視タイプ 遠隔監視 + 修理対応費用 + フロン排出抑制法定期点検 + R32冷媒安全対策

- 24時間365日、機器の運転を監視します。また、3年ごとに技術員が訪問し、定期点検を実施します。
- *当社遠隔監視サービスについての詳細はP6をご参照ください。
- *本契約のご加入期間は、試運転完了から1年以内となります。尚、監視用機材についても、前述の期間内に設置および設定調整いただく必要があります。

定期メンテナンス (定期点検契約) *修理対応費用は別途有償となります。

定期的な点検を行うメンテナンス契約です。

3 毎年点検タイプ 運転確認点検 + フロン排出抑制法定期点検 + R32冷媒安全対策

- 年に1～2回、技術員が訪問させていただき、室外機各部の点検・調整を行います。

オプションメニュー	●室内機 フィルター清掃 ご要望により、フィルターの清掃を承ります。	●フロン排出抑制法の定期点検 ●フロン排出抑制法の簡易点検	●ドレンパン確認、ドレンパン清掃 ●銀イオン系抗菌剤交換 ●床置形室内機 ファンベルト交換	その他ご要望に合わせ、 都度、点検を実施することも可能です
	詳細については当社担当までお問い合わせください。			

※1. 条件により修理費用が発生する場合があります。

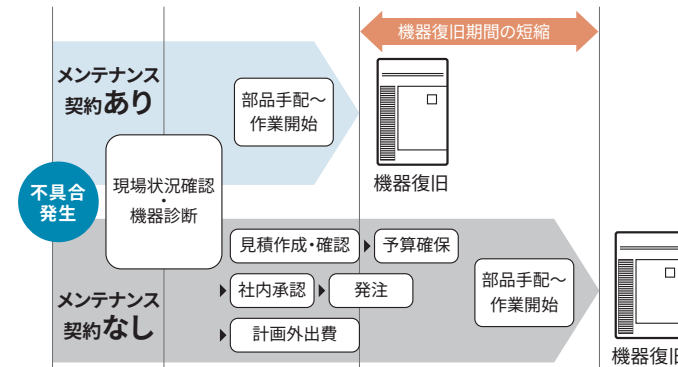


経済性

メンテナンス費用の予算化

フルメンテナンス契約には修理対応費用が含まれており、万が一不具合が発生した際も計画外の出費が抑えられます。また修理作業前の見積確認などお客様による承認が不要となる分、より早い機器復旧が可能です。

*別途有償となる修理もあります。

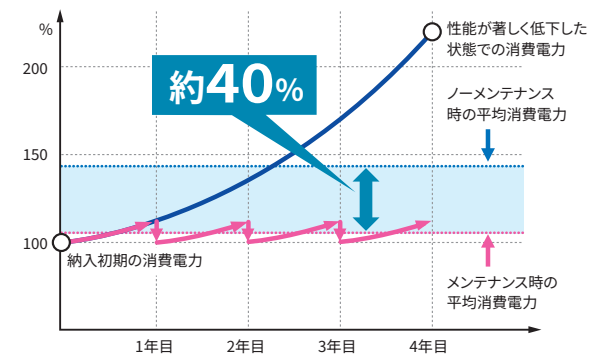


ランニングコストの低減

エアフィルターや熱交換器の清掃を定期的に行い運転することで、消費電力がノーメンテナンス時に比べ平均約40%削減できます。(下図参照)

■ノーメンテナンスによる消費電力の増加(例)

暖房運転時の消費電力(高圧上昇にともなう消費電力量UPをシミュレーション)



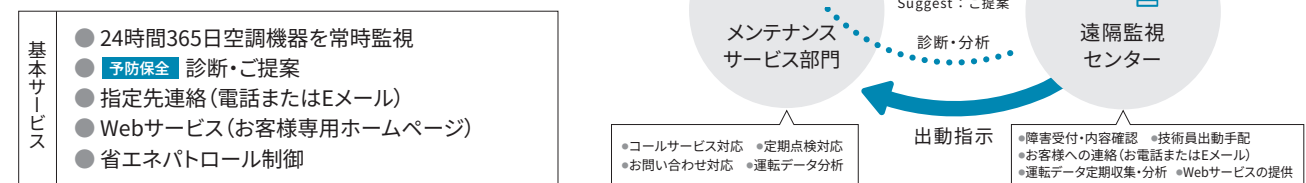
安心のサポート体制

業務用空調機器遠隔監視システム

サンエスネット

空調機を見守る安心の24時間遠隔監視と、予防保全による省エネ運転継続を実現

サンエスネットは、お客様と当社の遠隔監視センター、全国のサービス網をネットワークで結び、空調機に取り付けた遠隔監視アダプターを用いて24時間365日運転状態を監視するシステムです。



Panasonic HVAC CLOUD 省エネマネジメントサービス

■サービス概要 [オフィス・店舗用エアコン向け(2025年12月現在)]

詳細はこちら

ご契約・設置・施工

空調機器をインターネットに接続

WLANアダプター※2

LTEルーター※2

遠隔管理アプリ

24時間監視

- 空調運転の一括遠隔管理
- 消費電力・設定温度 可視化
- 警報メール通知

AI省エネコントロール

AI学習運転

- AIによりリモコンごとの特徴を学習し、AIロジックチューニング実施
- 省エネ効果検証※3

設定温度操作

操作反応を取得

AI制御運転

AIにより物件毎の特徴を学習継続、設定温度を自動で制御

(イメージ)

※2. 当サービスの契約には、WLANアダプターおよびLTEルーターの接続が必要になります。(WLANアダプター・LTEルーターの機器代・設置費用別途有償)

※3. AI学習運転はAI制御運転に向けた省エネ性の検証期間になります。